

科目名	人体構造機能学 II (神経系)	担当教員	鈴木大輔 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	1年次	後期	1単位	演習

科目概要	「人体構造機能学 I (神経系)」で学習した神経系における人体構造 (解剖) と働き (生理) を基に, 神経系が行う伝導・伝達・統合の仕組みを模型や標本などを用い, 顕微鏡レベルから肉眼解剖レベルまで演習を中心に理解を深めることを目的とする。またそれら神経系の働きが実際の人体でどのように機能しているのか, またこれら神経解剖学の知識を理学療法および作業療法場面でどう活用するかを, 理論だけではなく実技なども通し, 臨床に生きる知識となるように理解を深める。
学習目標	末梢神経系, 感覚器系, 内分泌器官の知識を深めること。日常に見られる感覚・内分泌の働きを説明でき, 学問的な探究心を向上させること。

回	項目	主な学習内容	学習目標	実務経験 教員担当 項目
1	I: 末梢神経	(1)各論: 腕神経叢	腕神経叢から分岐する神経について理解する 上肢の神経分布と絞扼性神経障害について理解する	
2	I: 末梢神経	(2)各論: 腰神経叢 (3)各論: 仙骨神経叢	腰神経の構造と働きを理解する。 仙骨神経の構造と働きを理解する。	
3	I: 末梢神	(4)各論: 陰部神経叢 (5)各論: 下肢の神経	陰部神経の構造と働きを理解する。 下肢の神経について理解する	
4	I: 末梢神経	(6)各論: 自律神経系	交感神経の働きを理解する 副交感神経の働きを理解する	
5	II: 脊髄	脊髄の構造	脊髄の構造と構成するニューロンを理解する	
6	中間テスト (理解度確認のため)			
	復習			
7	III: 伝導路	(1)シナプス (2)神経の伝導と伝達	シナプスの構造と働きを理解する 神経の伝導と伝達を理解する	

8	Ⅲ：伝導路	(3)伝導路(脊髄反射)	脊髄反射のメカニズムを理解する	
9	Ⅲ：伝導路	(4)伝導路(下行路) (5)伝導路(上行路)	下行路を構成する経路を理解する 上行路を構成する経路を理解する	
10	Ⅲ：伝導路	(6)伝導路(上行路) (7)伝導路(上行路)	各種感覚器の経路を理解する 伝導路の障害による臨床症状を理解する	
11	Ⅳ：感覚器	(1)各論：一般知覚	一般知覚はどのようなメカニズムで感知されているのか理解する	
12	Ⅳ：感覚器	(2)各論：味覚・嗅覚 (3)各論：視覚	味覚・嗅覚のメカニズムを理解する 視覚のメカニズムを理解する	
13	Ⅳ：感覚器 Ⅴ：内分泌系	(4)各論：聴覚・前庭覚 (1)内分泌総論	聴覚・前庭覚はどのようなメカニズムで感知されているのか理解する 内分泌の概念を理解する	
14	Ⅴ：内分泌系	(2)内分泌各論：下垂体 (3)内分泌各論：内分泌器官	下垂体の構造・ホルモンの働きを理解する 内分泌器官の構造・ホルモンの働きを理解する	
15	Ⅴ：内分泌系	(4)内分泌各論：内分泌器官 (5)内分泌各論：性ホルモン	内分泌器官の構造・ホルモンの働きを理解する 性ホルモンの働きを理解する	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		F.H.マティーン他：カラー人体解剖学 - 構造と機能：マイクロからマクロまで 西村書店		
参考図書		特になし		
学習の準備		復習は必ず行ってください		
オフィスアワー		在室時		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				

